

## 1 ウヤク

### 2 生薬の性状の項を次のように改める。

- 3 生薬の性状 本品は紡錘形又はところどころくびれた連珠状を  
4 呈し、長さ10～15 cm、径10～25 mmである。外面は黄褐  
5 色～褐色を呈し、僅かに細根の跡がある。横切面の皮部は褐  
6 色、木部は淡黄褐色を呈し、褐色の同心性の輪及び放射状の  
7 線がある。質は緻密で堅い。
- 8 本品は樟脳様のおいがあり、味は苦い。
- 9 本品の横切片を鏡検（5.0I）するとき、二次皮層が残存す  
10 るものでは、最外層は数細胞層のコルク層で、コルク細胞の  
11 一部はコルク石細胞である。二次皮層には油細胞及び繊維を  
12 認めることがある。二次皮層が剥離したものでは、最外層は  
13 形成層又は二次木部である。木部は道管及び木部繊維と、放  
14 射組織が交互に配列する。二次皮層及び木部の柔細胞中に径  
15 1～15 μmの単粒のでんぷん粒及び2～4粒からなる複粒の  
16 でんぷん粒を含む。また、シュウ酸カルシウムの結晶は認め  
17 ないか、又は認めることがあっても、極めて僅かである。
- 18